

長野市（保健福祉部）プレスリリース

令和5年5月17日

市内でノロウイルスによる食中毒が発生しました

市内幼稚園の園児及び職員が5月8日（月）に調理したよもぎの白玉団子を食べた園児及び職員が5月9日（火）から下痢等の胃腸炎症状を呈しました。

長野市保健所が調査及び検査を実施したところ、患者に共通する食事は当該食品のみであったこと、患者便からノロウイルスが検出されたこと等から、本日、当該食品を原因とする食中毒と断定しました。

患者は、当該食品を食べた42名中26名で、全員快方に向かっています。

【事件の探知】

令和5年5月10日（水）午前10時頃、幼稚園から長野市保健所に「感染性胃腸炎のような症状を呈した園児が複数名いる」旨の連絡があり確認したところ、多くの患者はよもぎの白玉団子を喫食していることが判明しました。

【長野市保健所による調査結果概要】

以下の理由により、本件を5月8日に園児及び職員で調理したよもぎの白玉団子を原因とするノロウイルスによる食中毒と断定しました。

- 6人の患者の便からノロウイルス（GⅡ）を検出しました。
- 患者の共通する食事はよもぎの白玉団子のみでした。
- 症状は、ノロウイルスによるものと一致していました。
- よもぎの白玉団子の喫食から発症までの時間はノロウイルスの潜伏時間と一致していました。
- 患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。

患者関係	発症日時	令和5年5月9日（火）午前0時頃
	患者症状	下痢、嘔吐、発熱等
	発生場所	長野市
	発症者数及び喫食者数	【全体】 発症者数／喫食者数 26名／42名 男性15名 女性11名（年齢：10歳未満～50歳代） 《内訳》 【園児】 発症者数／喫食者数 23名／35名 男性14名 女性9名 【職員】 発症者数／喫食者数 3名／7名 男性1名 女性2名
	受診医療機関数	1か所
原因食品	よもぎの白玉団子	
病因物質	ノロウイルス	

令和5年度発生状況	1件	26名
令和4年度同期	0件	0名

～ ノロウイルスによる食中毒とは ～

[特 徴]

ノロウイルスというウイルスによって起こる食中毒です。

ノロウイルスによる食中毒は、主に①ノロウイルスに感染した者等を介してウイルスに汚染された食品や、②ノロウイルスが蓄積した二枚貝を生や加熱不足で食べることによって起こります。

このウイルスの感染力は非常に強く、食品を介さず、感染者の吐物、下痢便から他の人に感染することもあります。

[症 状]

1～2日の潜伏期間を経た後、下痢、嘔吐、吐き気、発熱などを起こします。かぜとよく似た症状がみられる場合もあります。通常は発症してから1～2日で症状は治まりますが、小さなお子さんやお年寄りでは脱水症状を起こす可能性がありますので、体調に不安があれば早めに医療機関で受診してください。

[予防方法]

外から帰った時、トイレの後、調理の前、食事の前には、石けんで十分に手を洗いましょう。

ノロウイルスに汚染されるおそれのある食材は、中心部まで十分に加熱しましょう。

まな板、包丁、ふきんなどはよく洗い、熱湯や漂白剤で殺菌して使いましょう。

発症者の嘔吐物などを処理する時は、使い捨ての手袋を使って片付けた後、塩素剤で消毒を行い、汚染が広がらないよう十分に注意しましょう。

下痢、嘔吐、腹痛、発熱などの症状がある時は、調理作業に従事しないようにしましょう。

ながのご縁を



信都・長野市

保健福祉部長野市保健所食品生活衛生課

（課長）大河内 雅彦 （担当）関口 徳之

電話：直通 026-226-9970 FAX：026-226-9981

E-mail：h-seikatu@city.nagano.lg.jp